

AQUARIUS 最先端研究所 ニュースリリース

AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2020/12/18

- さわやかな新空間の提供、瞑想室サービス・ビジネスの可能性！
- 「瞑想する」と答えた人の6割が、脳波誘導シンプル機器、瞑想室に関心！
- トランステック、マインドフルネス瞑想の未来に、期待高まる！
- 意識調査分析から未来への視点、AQU 先端テクノロジー総研

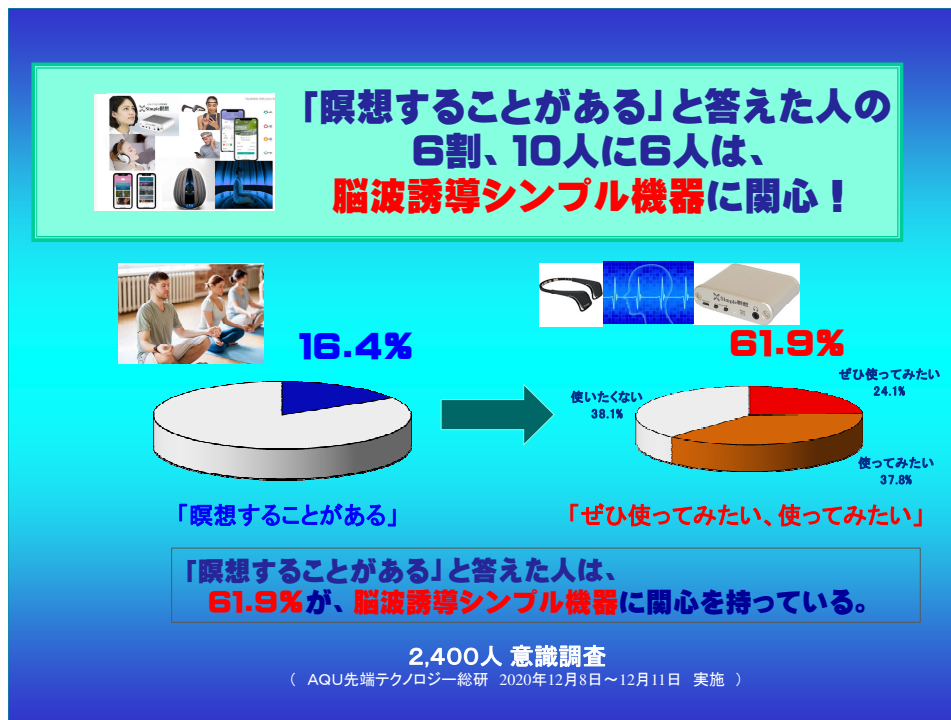
<https://www.aqu.com/transtech/>

<https://www.aqu.com/aqu-news/2020-12-18.pdf>

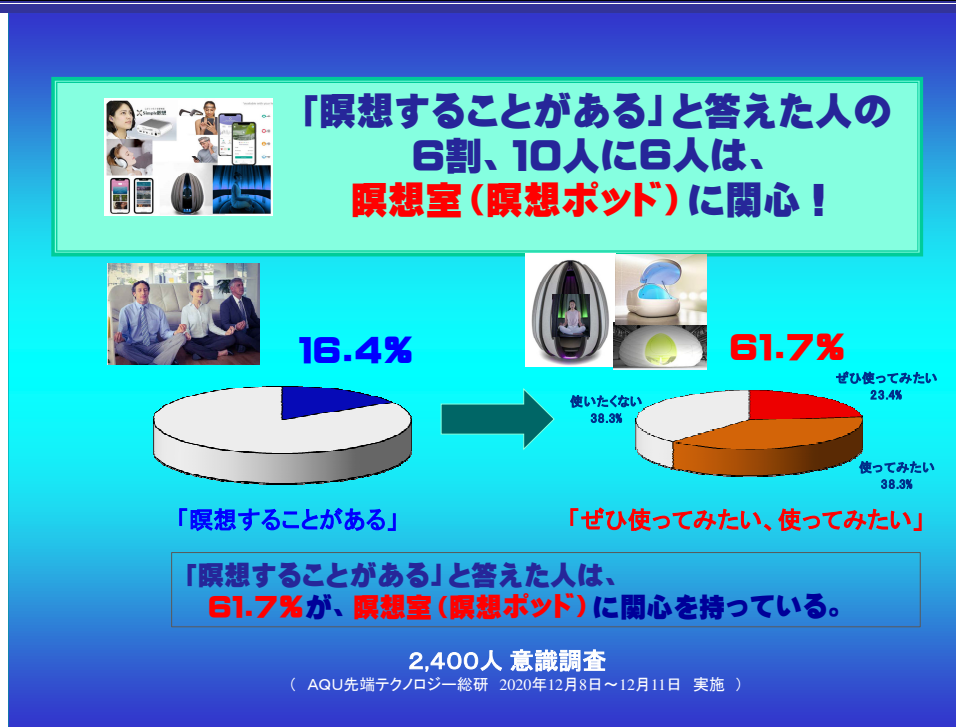
ニュースリリース

<https://www.aqu.com/>

【意識調査結果の注目点】



図表. 「瞑想することがある」と答えた人の脳波誘導シンプル機器関心度



図表. 「瞑想することがある」と答えた人の瞑想室(瞑想ポッド)関心度

- さわやかな新空間の提供、瞑想室サービス・ビジネスの可能性!
- 「瞑想する」と答えた人の6割が、脳波誘導シンプル機器、瞑想室に関心!
- トランステック、マインドフルネス瞑想の未来に、期待高まる!
- 意識調査分析から未来への視点、AQU先端テクノロジー総研

- 先端テクノロジーの市場調査会社、AQU 先端テクノロジー総研(代表、子安克昌)は2,400人を対象とした意識調査から未来への視点として、さわやかな新空間を提供するサービス、瞑想室サービスなどの新ビジネスの可能性が見えてきたと分析した。

- 脳科学や心理学などを組み合わせ、人間の心身をサポートする技術、トランステック、TransTech (Transformative Technology) が、注目されるようになってきた。トランステック (TransTech) の目的としては、Well-beingと言われることがある。ストレスの減少や自己覚醒、自己認識、精神や感情認識の強化、自己実現の具現化、あるいはより深い意識変容である悟りへの誘い、といったことをテクノロジーを使って実現していこうという動きが出てきている。そこで、これからの未来に対して、どんなことを期待するかを質問した。
- その結果、アプリ、瞑想支援機器、瞑想室などについて貴重な意見が寄せられた。アプリについては呼吸法や腹式呼吸、また睡眠の誘導などをしてくれるものへの期待が多かった。「瞑想や呼吸法とともに、睡眠誘導をしてもらえるアプリがあると良い。」(17才、女性、学生)などである。また、勉強などに集中できる脳波に誘導する機械や、映像、音楽、香りなどで快適な気分やポジティブな精神へ導いてくれるシステム(瞑想ルーム等)への期待も大きかった。「カフェ

のようなスペースがあるとよい。ネットカフェのように普及すれば、人々の心がいい方向に向かっていくと思う。」(58才、女性、専業主婦)、「自宅ではなかなか集中出来ないので、カラオケボックスのような所で瞑想出来るとよい。気軽に外向く所で行いたい。」(56才、女性、専業主婦)などの意見もあった。すでに、B to B 向けにメディテーションポッド(企業向け等)やアイソレーションタンク(心療所向け等)などがある。将来的には、ネットカフェやカラオケボックスのような特殊空間の場所でも瞑想のサービスが広がってゆく可能性がある。

- ▶ なお、同社では「社会のシステムが複雑化する中で、さまざまな騒音にも悩む人が多くなってきています。トランステックは新しい言葉でまだ認知度は低いかもしれませんが、メンタル、感情、心理面において人間の心身の健康(ウェルビーイング、心身ともに満たされた状態)を実現するテクノロジーです。新型コロナウイルスによる不安感が広がる昨今ですが、ウェルビーイングの大切さに気づき、マインドフルネス瞑想や、トランステック製品サービスへの関心は今後急速に高まってゆくと思っています。スマホやタブレットなどを利用した瞑想アプリのほかにも、マインドフルネス瞑想をサポートする、シンプル瞑想機器や、オフィス向け瞑想室、あるいは、さわやかな新空間を提供する瞑想室サービスなどが今後大きく普及してゆく可能性があります。ただし過度なPRにならないよう、利用者中心の無理のない堅実なビジネス形成が求められるでしょう。」としている。

■調査テーマ

トランステック、マインドフルネス瞑想に関する意識調査 (瞑想支援機器編)

<https://www.aqu.com/aqu-news/2020-12-18.pdf> (ニュースリリース)

■関連調査報告書

『最先端・脳波ビジネス、BMI、BCIの開発動向と市場予測

– 簡易脳波計ヘッドセット、ブレインテック、人間拡張技術が創る未来市場 –』

<https://www.aqu.com/brain-ai-mirai/>

『トランステック、マインドフルネス瞑想に関する市場調査』(仮題)

<https://www.aqu.com/transtech/> (準備中)

■調査趣旨

- Google、Facebook、Apple、Amazonをはじめ、シリコンバレーの企業の人たちの中には、日々、マインドフルネス瞑想を行う人が増えている。脳科学や心理学などを組み合わせ、人間の心身をサポートする技術、トランステック、TransTech (Transformative

Technology) が、注目されるようになってきた。日本では禅などの文化があり、トランステックとは深い関係がある。そこで、マインドフルネス瞑想やトランステックなどについて現状認識、評価をとらえることで今後の市場予測の参考とする。

■意識調査実施日 2020年12月8日～12月11日

■調査の実施 AQU 先端テクノロジー総研
トランステック、マインドフルネス瞑想市場調査プロジェクト

■調査対象

・会社員・公務員、経営者、主婦、学生等を対象に、インターネットを利用して10代、20代、30代、40代、50代、60代以上(均等)、合計2,400人の協力を得てアンケート調査を実施した。(有効回答数、2,400人) Q6、Q7 については、1回目のアンケート結果に基づき、「瞑想、ヨガ、禅をやっている」、「瞑想、ヨガ、禅に関心ある」とした関心度の高い500人を対象として、2回目アンケートを実施、より深い質問を実施した。

■トランステック、マインドフルネス瞑想の未来ビジョンについて

トランステック (TransTech) の目的は、米国では、よくWell-beingと言われている。ストレスの減少や自己覚醒、自己認識、精神や感情認識の強化、自己実現の具現化、より深い意識変容である悟りへの誘い、といったことをテクノロジーでやろうという動きが出ている。これからの未来に対して、どんなことを期待するかを質問した。

貴重な意見が得られたが、ここでは、アプリ、瞑想支援機器、瞑想室といった項目に分けて簡単に述べることとする。

アプリについては、「瞑想や呼吸法とともに、睡眠誘導をしてもらえると良い。」(17才、女性、学生)、「夜中目が覚めることが多く悩んでいます。質の良い睡眠を取るためにも、睡眠誘導してくれるアプリがあったら利用したいです。」(55才、女性、専業主婦)、「呼吸法や腹式呼吸を指導してくれるアプリがあるとよい。」(39才、女性、自由業)、「うまく自分を理解できるような質問で、誘導してくれるアプリがあれば良い。」(21歳、女性、学生)、「アプリで自分の瞑想のレベルとかがわかると、ゲーム感覚で続けられる。AI等で自分に向いてる方法を見つけられたりしたらいいと思う。」(18歳、女性、学生)といった意見があった。呼吸法、腹式呼吸や睡眠誘導、人工知能を活用したサポートなどがポイントといえる。

瞑想支援機器については、「勉強に集中できるような脳波に誘導する機械が欲しい。」(18才、男性、学生)、「希望をもたせ、実現化していく思考の脳に変わっていくような音の出るイヤホンとハイパーセルフと繋がるような映像を見せるサングラスに関心がある。」(27才、男性、自営業)、「VRや映像を見ながら、自然と瞑想を深められると良いと思う。」(22才、男性、学生)、「気軽に瞑想できるような機械があるとよい。」(37才、男性、会社員)といった意見があった。気軽にできるもの、本格的なもの多様化してゆくと考えられる。

瞑想室については、「職場で音楽や香り、ヨガができる環境などがあると楽しみが持てて、ストレス軽減や交流が広がり、鬱解消にも繋がると思う。」(17才、女性、学生)、「会社の福利厚生の一環として、健康診断と同じレベルでの導入を希望する。」(31才、女性、会社員)、「映像や音楽、香りなどで快適な気分やポジティブな精神へ導いてくれるシステムが

あると助かります。瞑想ルームが自宅に手軽に造れると良いです。職場での導入も進むと良いです。」(40才、女性、専業主婦)、「誰でも気軽に瞑想できる、カフェのようなスペースがあるとよい。ネットカフェのように普及すれば、人々の心がいい方向に向かっていくと思う。」(58才、女性、専業主婦)、「図書館の横などに瞑想室や瞑想機器が常設してあればよい。」(50才、男性、会社員)、「自宅ではなかなか集中出来ないので、カラオケボックスのような所で瞑想出来るとよい。気軽に出向く所で行いたい。」(56才、女性、専業主婦)といった意見があった。すでに、B to B 向けにメディテーションポッドやアイソレーションタンクなどがある。今後、ネットカフェやカラオケボックスのようなイメージの場所でも瞑想のサービスが広がってゆく可能性があると思われる。

このほか、見落としがちな視点もあった。「生きていることに幸せを感じられるなら、そのことが、平和に貢献することになると思う。」(70才、女性、専業主婦)、「瞑想などは心を落ち着けるのにとってもいいが、初めてやってみる人に押し付けにならないように注意しないといけない。」(23才、女性、パート・アルバイト)、「瞑想やスピリチュアルと聞くと、怪しいとか取っ付き難いイメージがあるので、ストレスを軽減する手段だということを分かりやすく世に広めることが重要だと思う。」(23才、女性、会社員)といった意見があった。瞑想というと、よいことばかりではなく、関連して過去にはさまざまな事件ニュースがあったと記憶される。利用者中心の無理のない堅実なビジネス形成が求められるといえるだろう。

全体的には、トランステック、マインドフルネス瞑想に期待する声が多く寄せられた。以下、コメントの一部である。

- ・「瞑想や呼吸法とともに、睡眠誘導をしてもらえるアプリがあると良い。」(17才、女性、学生)
- ・「夜中目が覚めることが多く悩んでいます。質の良い睡眠を取るためにも、睡眠誘導してくれるアプリがあったら利用したいです。」(55才、女性、専業主婦)
- ・「呼吸法や腹式呼吸を指導してくれるアプリがあるとよい。」(39才、女性、自由業)
- ・「うまく自分を理解できるような質問で、誘導してくれるアプリがあれば良い。」(21歳、女性、学生)
- ・「アプリで自分の瞑想のレベルとかがわかると、ゲーム感覚で続けられる。AI等で自分に向いている方法を見つけられたりしたらいいと思う。」(18歳、女性、学生)
- ・「勉強に集中できるような脳波に誘導する機械が欲しい。」(18才、男性、学生)
- ・「希望をもたせ、実現化していく思考の脳に変わっていくような音の出るイヤホンとハイヤーセルフと繋がるような映像を見せるサングラスに関心がある。」(27才、男性、自営業)
- ・「VRや映像を見ながら、自然と瞑想を深められると良いと思う。」(22才、男性、学生)
- ・「気軽に瞑想できるような機械があるとよい。」(37才、男性、会社員)
- ・「職場で音楽や香り、ヨガができる環境などがあると楽しみが持てて、ストレス軽減や交流が広がり、鬱解消にも繋がると思う。」(17才、女性、学生)
- ・「会社の福利厚生の一環として、健康診断と同じレベルでの導入を希望する。」(31才、女性、会社員)
- ・「映像や音楽、香りなどで快適な気分やポジティブな精神へ導いてくれるシステムがあると助かります。瞑想ルームが自宅に手軽に造れると良いです。職場での導入も進むと良いです。」(40才、女性、専業主婦)
- ・「誰でも気軽に瞑想できる、カフェのようなスペースがあるとよい。ネットカフェのように普及すれば、人々の心がいい方向に向かっていくと思う。」(58才、女性、専業主婦)

- ・「図書館の横などに瞑想室や瞑想機器が常設してあればよい。」(50才、男性、会社員)
- ・「自宅ではなかなか集中出来ないので、カラオケボックスのような所で瞑想出来るとよい。気軽に外向く所で行いたい。」(56才、女性、専業主婦)
- ・「生きていることに幸せを感じられるなら、そのことが、平和に貢献することになると思う。」(70才、女性、専業主婦)
- ・「瞑想などは心を落ち着けるのにとってもいいが、初めてやってみる人に押し付けにならないように注意しないとイケない。」(23才、女性、パート・アルバイト)
- ・「瞑想やスピリチュアルと聞くと、怪しいとか取っ付き難いイメージがあるので、ストレスを軽減する手段だということを知りやすく世に広めることが重要だと思う。」(23才、女性、会社員)

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<https://www.aqu.com/>

〒260-0027

千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6F

TEL 043-204-1258

FAX 043-204-1316

子安、那須

info@aqu.com